

令和5年度第2回豊橋市安全で安心なまちづくり審議会議事録

日 時	令和6年2月20日(火) 10:00~11:30
場 所	市役所12階 東122会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴者	0名

司 会：只今より豊橋市安全で安心なまちづくり審議会を開催いたします。

本日、委員10名中9名ご出席です。これは、豊橋市安全で安心なまちづくり審議会規則第3条第2項の規定における半数以上の出席であるため、本日の審議会は成立したことをご報告いたします。

それでは、はじめに安全生活課長の岡元よりご挨拶申し上げます

課 長：【あいさつ】

司 会：ここからは、本審議会会長である余郷様より議事の進行をお願いいたします。

会 長：おはようございます。大勢の皆様にお集まりいただきありがとうございます。今年度2回目となりますが、新年早々、能登半島にて大きな地震があり、心が痛むばかりです。一日も早い復興を願っていますが、新聞などではまだまだ時間がかかるという報道ばかりでもどかしい気持ちです。

それでは議題に基づいて進めてまいりたいと思いますが、先ほど事務局よりお話しがありました議事録の署名者を2名の方をお願いしたいと思います。

今回は、河邊委員と山本委員をお願いしてもよろしいでしょうか。

各委員：【異議なしの声】

会 長：ありがとうございます。それでは、報告に入らせていただきます。『令和5年度安全で安心なまちづくり行動計画の進捗状況について』事務局より説明をお願いします。

事務局：【資料に基づき説明】

会 長：今、説明した内容について、何か質問や意見はありますか。

副会長：まず、こういう結果を見ても、どういう対策をしているか、どういうことをやろうとしているのか見えない。それから、防犯カメラを1,000台設置とあるが、いつまでに、設置しようと考えているのか。この結果をみると、1年に20~30台設

置となっているが、そのペースだと大分時間がかかる。どのような計画を考えているのか聞きたい。

事務局：本市で行っている防犯対策については、次回からもう少しわかるようにしていきます。防犯カメラについては、この後来年度事業の際にもご説明しますが、4年間で1,000台、1年あたり250台を設置していく予定となっています。設置については、今までは自治会などに補助金を出していたが、今後は市が直接設置していくという方法に変わります。

副会長：市が、地域などを見て回って設置していくということか。

事務局：そうです。今までは、自治会などから「ここに設置したい」という希望を聞いて、その設置費用の5分の3を補助していましたが、それですと1年あたりに20台～30台の設置状況となり、「多くを設置」することがなかなか難しいですし、自治会の負担も大きいことから、来年度以降、費用から設置、管理まで市でおこなう予定です。また、設置に際しては、警察や自治会のご協力を得て、場所の選定をおこなっていきたいと考えております。

副会長：1,000台設置して、維持費のほうはどうなるのか。

事務局：維持、管理も含めて、市がおこなう予定です。

会 長：素晴らしいと思う。

事務局：ただ、今まで自治会等で設置していただいたカメラについては、維持費の一部を市が補助するようになります。

副会長：今まで設置した分は1,000台の中に含まれるのか。

事務局：現状は自治会の所有となることから、市の管理とはならないが、例えば老朽化等で付け替えるとなった場合は、市で設置していくということも考えられます。

会 長：以前はこういったものが自治会の負担となっていたため、「壊れたらどうするか」など、なかなか設置が進まなかった。250台だと、単純に計算すれば、1校区あたり5台となる。これはなかなかすごいことだと考えている。以前は、「防犯カメラ設置推進地区」という黄色の看板を学校や公園などにたくさんつけていたが、それと並行してカメラの設置も進んでいけば、より良いことだと思う。

それでは、他にご意見もないようですので、次の報告に移ります。

「令和6年度の実施予定事業について」事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料に基づき説明】

会長：それでは、今の報告に対してご意見等あればお願いします。

委員：先日、こども見守り隊の関係で豊橋警察署の生活安全課の方に来ていただいて、講義をしていただいたが、その際に「防犯カメラの設置の必要性」について警察としても話をしていた。今まで2回程、市に申請して設置したことがある。来てもらった方に、「設置費用」や「承諾書」について尋ねたところ、「今後はそういう物は必要ない」と言われた。防犯カメラの必要性については、その講習会に来ていた人たちも理解していたので、今後も設置をしていきたいと考えている。

委員：私も自治会の関係だが、今まで防犯灯付きのカメラを設置したことがあるが、他の照明が近くにあると互いに干渉してしまうということで、設置場所の選定がなかなか難しい。やはり設置となると、通学路や交差点など交通の要所や子どもたちの往来が多いところにしたいが、そういった理由でいい場所が見つからない。防犯カメラの台数が、愛知県下の同規模自治体の中では極端に少なく、岡崎市などの30万人規模のところはやはり1,000台程度設置されている。今回、1年間で250台設置するのに際して、まずは防犯上重要なところをチェックしてもらい、それに対して地元が、小学校などの子どもが多い場所などを選んでいくと。今回のものは照明が付いていないので、そういった点でも選定はしやすいと思う。やはり防犯カメラの効果は期待でき、犯罪発生を抑止力となるようだ。ただ、設置となると場所の選定から費用の面、現地の立ち合いや承諾書など色々と手続きが必要であり、そういったものが軽減されることは良いことだし、自治会としても何らかの協力はしていくことになると思う。

防犯カメラについては、自治会で公園などに設置しているところもあるが、校区によってばらつきがあるため、市全体にカメラが設置されていくことは良いことだと思う。

事務局：承諾書の話がでましたが、やはりプライバシーの問題などもありますので、何らかの形で設置される周辺のお宅には確認をしていく必要があると思っています。もし写りたくないということであれば、方法としては、マスキングというものもありますので、そういったことで対応することを検討しています。

設置にあたっては、今まで自治会の方に多くのご協力をいただいております。今後も地域のことをよく知っている自治会の意見も聞きながら、また、警察とも

相談しながら、こういったところに設置することが効果的かを検討しながら 250 台の設置を進めてまいりたいと考えています。

副会長：私は保護司をしており、その関係で多くの少年犯罪を見てきた。その中で、薬物関係は本当に簡単に、友達同士で手に入れることができってしまう。そういった子どもたちが結構多くいる。大体そういった子たちは、どこでどうしているかという、豊橋駅周辺に集まっていることが多い。
それともうひとつ、落語の防犯教室というのは、年にどれくらいの回数を想定しているのか。

事務局：まずは初年度になるため、年 10 回を予定しています。この講座に関しては、土日でも可としていますので、できる限り受講しやすい形をとっています。

会 長：よく市民館などで高齢者の集まりなどあるが、そういった場所にも来てもらえるのか。

事務局：そういった場所でも希望されれば伺います。

会 長：申し込めば、出前講座のように手軽に来てもらえるのであれば、地区の集まりで呼びやすいのだが、いかがか。

事務局：おっしゃる通りで、出前講座のひとつとして考えています。ただ、予定している落語家の方が 1 名で、豊橋市だけでなく他の自治体や東三河広域連合の講座も持っています。そのため、希望の日がちがえば、そういった集まりの場に伺いますし、落語から防犯教室に興味を持ってもらう入口として活用してもらえればと考えています。

副会長：場所はどこを予定しているか。

事務局：基本的には、呼んでいただいた場所となります。例えば地区市民館などになります。

会 長：豊橋には天狗連という落語家の方々の集まりがある。今は防犯系の話が一人しか出来ないというが、ぜひ天狗連に声をかけて、他の落語家さんでも出来るようにし、講座の数を増やして欲しい。

委 員：ながら防犯について、これはすでにグッズの販売などをおこなっているのか。

事務局：ながら防犯に関するものは、来年度からを予定しています。今でもタスキなどの反射材は配布しているが、それを発展させたものを考えています。

委員：こういったものを一般の方に広報する、または自治会経由で配っていくという方法なのか、一度よく考えて実施してほしい。前はお母さん方が買い物する際に、自転車の前かごにプレートを付けていたが、この頃は少し減ってしまった。そういう目立つものは有効だと思うので、こういったものを配布するのが良いかを検討してほしい。

会長：他にありませんでしょうか。主な来年度事業に記載されている3つのものは、全て自治会の方々のご苦勞、常日頃の目配り気配りによるものだと思います。引き続き、自治会の方々には防犯活動についてご協力いただきたいと思います。他にご意見ありませんようでしたら、次の報告案件「豊橋警察署管内の犯罪発生状況について」説明をお願いします。

事務局：【資料に基づき説明】

会長：ただいまの説明に対して、聞きたいことなどはありますでしょうか。
自転車盗ですが、やはり鍵かけをしない人が減らない。
こういった鍵かけをしない年代というのはわかるものか。

委員：昨年の自転車盗の簡易分析によると、無施錠率が63.9%となっている。鍵を掛けていない年代はどこというのはわからないが、被害者の職業などを見ると、小学生を含む学生が約半数となっている。鍵かけは今に始まったことではなく、昔からずっとキャンペーンを続けているが、なかなか根付いていないのが現状。今、警察では幼児教育を含めて学校への取り組みをおこなっている。やはり鍵かけの習慣を子どもの時から身に付けてもらわなければ、大人になってからだとなかなか難しい。被害に遭ってから鍵をかけるようになるかもしれないが、それでは遅い。中学校などでは、学校の駐輪場で鍵をかけていない自転車への注意などをお願いする、そういった文書を出させてもらっている。まずはやほり的を絞って、広報していくのが良いかと考えている。あとは、自転車盗が多いのはどこかというと、南栄駅がワースト1位となっており、あとは大型の商業施設の駐輪場が多い。こういったところで啓発をおこなったりしている。あとはそれら周辺への防犯カメラの設置。防犯カメラがあるということで犯罪発生を抑止する効果がある。あとはカメラがあるということアピールするための看板を設置していただく。愛知県のガイドラインでは、カメラを設置したことを示さなければならないので、そういったことでより抑止効果が高まっていると考えている。

会 長：時々駅で鍵かけの啓発活動をやっているが、高校生なんかだと自転車についている鍵をかけてはいるが、もうひとつの鍵をかけてツーロックにすることでより効果があるよ、という「知らなかった」と言う人が結構いる。100円ショップなんかでも売っているので、そういうものを学校に配るなどしてみてもどうか。高校生や専門学生あたりが、「パッと停めてパッと電車に乗ってしまう」ことが多いと思うので、そのようなグッズを配ったりしないとなかなか減らないのではないかな。自転車盗は、ちょっと乗るために盗まれることも多いと聞くので、あまり罪の意識が薄いのかもしれない。小さいときから、犯罪に対する予防、知識を持ってもらいたいと思う。

副会長：犯罪の発生件数だが、岩田や中野が増えていて、牛川が減ったりしているが、何か理由などはあるのか。

委 員：犯罪が減っているときは、「みなさんのおかげです」と言っている。地域で減っているのは、皆様のご尽力のおかげだと。増えた時は、地域の特徴などもあるかもしれないが、例えば侵入盗は増えているが、これは何かというと、犯人が短期間で犯罪を繰り返して、警察が捕まえるまでおこなうと。また、犯行グループが店舗を狙った場合は、同じチェーン店を狙ったりだとか、そういった傾向もある。自転車盗については、豊橋に限らず他の自治体でも同じことだが、校区ごとにどうなのか、というのは、体感治安などはあるかもしれないが、増えた理由というのはなかなか分析するのが難しい。

副会長：そうであれば、地域で犯罪が減っているのであれば、その地域を市役所がほめるべきだ。そういうことをしていかないと。結局、犯罪というのは防ごうと思っても我々には目途がつかない。市役所の力というのはそういったところではないか。例えば、広報で「ここの地域では減りました」などというのはできないか。

会 長：考え方のひとつだと思う。

副会長：どこも何も言われなから、結局どこもわからない、一般市民は。

会 長：地域のみなさんのおかげです、といった形で広報に載せれば。

事務局：広報の仕方を検討していきたいと思います。

委 員：自転車盗で、毎年同じように多くなっているが、盗まれた自転車はどういう風に処理されるのか。

事務局：放置されている自転車などは、まずは警察官が防犯登録等を確認して、被害届が出ていれば本人にお返ししています。また、犯人が乗っている場合は、そのまま検挙しています。

委員：よく町で警察官が自転車乗っている人に声掛けをしているのを見かけるが、それはそういった理由か。

事務局：取り締まりをしていかなければならないため、おこなっています。

委員：放置された自転車は、最後どうなるのか。

事務局：防犯登録がされていれば、長年に渡って調べることはできます。

委員：大分前になるが、うちの近所で放置されていた自転車があつて、警察官に連絡し、持ち主に連絡したところ「もういない」と言われたらしいが、そういう場合は最後どこかが処分するのか。

事務局：公道に置いてあるか民地に置いてあるかによっても違うが、公道であれば道路管理者、国であるとか県、自治体が処分せざるを得ないこともあると思います。

委員：実際、盗まれるとどれくらいの割合で被害届がでるのか。

委員：正確な数はないが、盗まれたらまず警察に連絡がくる。それとは別に、町中で職務質問、声掛けを実施しているが、それが盗まれた自転車かどうかの確認だけではなく、事故も多いため、ヘルメット、夜間のライトなどの啓発も含めている。その中で、少しおかしな点があれば、「あなたの自転車か」と確認し、その中で盗んだことを自供し、検挙して調べたところ、まだ被害届はでていなかった、というケースもある。そこで初めて警察から連絡をして、「実はいついつ盗まれました」と発覚するケースもある。あとはいわゆる放置自転車、集合住宅の駐輪場や自宅前にずっと置いてあるという通報もある。調べたところ、被害届がでていれば、被害者に返すことはできるのだが、そこで初めて「実は盗まれている」ということで、中には盗まれても被害届を出さないケースというものもいるのは事実。一度、持ち主の手を離れた自転車は、いろいろなところで見つかることがある。なので、増えているとっている自転車盗の件数よりも実際は多いのではないかと思う。ただ、これは豊橋市に限った話ではない。

ちなみに、豊橋市はオートバイ盗が県内ではワースト1位となっており、自転車盗は6位で、1位は名古屋市中区、2位は中村区、3位春日井という風になっている。

会 長：豊橋市は人口が県内で4位となっているが。

委 員：自転車については、やはり人の流れが多いことが要因になる。名駅なんかは市内・市外の人が利用しているし、中区の被害は1,000件を超えている。豊橋は460件と、倍以上である。もう一つ皆さんに知っておいてほしいのは少年犯罪。これが増えている。昨年の非行少年の非行の内容は、自転車盗と万引きが多いのだが、豊橋市の特徴として、自動車・オートバイそして大麻取締法、これがちょっと目立っている。先ほど薬物の話が出たが、若者が薬物に手を染めているという実態がやはりある。SNS等を利用して、手に入れたりとか。

オートバイ盗が60件で、市区町村別ではワースト1位、2位は豊田市の56件で何となく似た状況があるのかなと。3位は中区25件と半分になる。オートバイ盗については捕まえている。少年によるオートバイ盗。

鍵かけの習慣もそうだが、犯罪をしないという教育、被害に遭わない、安易に薬物に手を出さないといった対策を実施していく。それが5年後10年後、私が老人になった時に支えてくれる少年たちなので、やはり未来への投資ということで、子どもたちに対する施策をやっていききたいと。

会 長：青少年が健全にすくすくと育って、大人になってきちんと税金を納められるようになるには、小さい時からの教育が大事だと思う。自転車盗なんかは少しの気持ちでやってしまうようなこともあるので、学校に対して啓発していくのも良いかと思う。

委 員：今回、防犯カメラの事業を新規に立ち上げていただいたが、今後またこういった対策の在り方だとか、対象にするとところを子どもに目を向けたりだとか、そういった方向性もどうかと思って話をさせてもらった。

委 員：PTAのほうでは、こういった薬物の話だとかは、浸透しているか。

委 員：私は小学校のPTAを担当しているが、小学校ではまだ薬物どうこうというよりも、携帯電話の使い方の話があったりだとかで、中学校になればそういった話もあるかもしれないが、学校の手紙で、長期の休みに注意しましょう、こういう問題に巻き込まれないようにしましょうという、昔はなかったのだが、目にするようになったと思う。やはり低学年、子どもの年齢が低いうちから、そういうものを耳にいれていくという必要性は、今の世の中には必要なのかなと思う。

委 員：子どものころから、本当に小学生のころからお母さん方に働きかけていただきたい。

会 長：薬物なんかで、小学生でも風邪薬を大量に飲むと死に至るといふ、そういうのをテレビや新聞なんかで目にすると、大変な世の中だなと思う。

副会長：薬物に関わる子たちは、友達関係である。そういった子たちが薬物に手を染めていく。先日、スタバの前の道路にオートバイを置いていた3人の子たちと話をしたが、豊川から来ていると言っていた。先ほど広域という話が出てたが、本当に広く動いていると思う。なので、何が大事かというところ、やはり「地域の目」が絶対に必要。危険かもしれないが、言えばわかる子たちである。やはり地域の目、こういった更生保護女性会などのところは需要があると思う。安全安心なまちづくりにはそういったことも必要だと思う。

会 長：その他で、何かあればお一人お一人からご意見いただければと思うが。

委 員：小学校の防犯少年団というのは。

委 員：警察のほうになる。毎年モデル校みたいになるが、防犯少年団、小学校5年生が対象で10名くらいを選んでいる。警察本部が始めたことで、豊橋だけではない。通称「コノハキッズ」と言うが、子どもたち自ら防犯を訴えたりだとか、特殊詐欺なんかだと、お孫さんから啓発、のように心に響くようなことをやっている。あとは当然、子どもたち自身が不審者、声掛けとか連れ去りにあってはいけないので、子どもに対する防犯教室というのも、やはりそのモデル校が体験学習として、警察官が不審者になって、走って追いかけるとか、大声コンテストをやったりだとかいろんなことをしている。

委 員：私も子どもがいるのだが、なかなか子どもたちから防犯教室のことを聞かない。まんべんなくやっていると思うが。

事務局：幼稚園・保育園、学校などから希望いただいたところで、かなり広範囲にやっていて、予約日になると一斉に電話が鳴って、順番に対応しているような状況です。もしかしたら、ご希望されなかったとか、希望日が合わなかったなどで実施していないところもあるかもしれない。基本的には、幼稚園協会や保育園協会に声をかけさせていただいて、募集している、というような状況です。

委 員：子どもたちへの教育、意識が大事でという話で、あんまり印象に残らないから親に報告しないのかなと、その辺でもう少しなにかあれば。

会 長：小さいときは、親御さんと目を合わせて毎日毎日、お話ししたりご飯を食べたり

することが、一番私は大人になるときの防犯教室になると思っている。何よりも暖かい家庭というのが一番の防犯教室だと思う。

委員：学校でやっているというのも、私あまり町内のことはよくわからない。講座がいろいろあるというのも、私は参加したことがないので、どこでやっているのかというのも回覧板などを見てもわかりづらいというか。なので、参加される方はいつも決まっているのかなと。で、要は私のように知らないという人も多数いるのかなと。そこに対して、どうしたら伝えられるのか、というのはなかなか難しいなと、聞いていて思った。せっかく素敵なことをやっているのに、やっていることを知らないの。

会長：もっと安全生活課に頑張ってもらわないと。

事務局：今回、総合的な防犯対策として、防犯カメラ中心に出させていただいているので、それを契機に、そういった防犯教室もやっているよということを、上手に広報していきたいなと思います。

会長：広報誌全面に載せるくらいで。

事務局：希望は出していますが、なかなか難しい。

委員：10年位前に家を建てたが、その時に自治会長の方が、家の前の街灯が少ない、暗いから、ここに引っ越してくるなら、市役所に話をして街灯をつけてあげると言われ、本当にLEDの街灯を付けてくださった。その時に、地域の暖かさを感じた。ありがたいと思った。

事務局：自治会の方が普段見ていただいている、地域の安全を考えてくれているのだと思います。

会長：自治会さんが、みなさんのところを隈なく見てくださっているということは、並々ならぬ努力の賜物だと思う。自治会には頭が下がる。防犯灯は、郊外でなくとも、町中でも暗いところがある。なるべく防犯灯をたくさん付けていただくことが、防犯につながると思う。

委員：来年度、ながら防犯の推進ということで、私のゼミの学生が微力ながらお手伝いさせていただいた。先ほども話があったが、ロゴ入りTシャツだとか、そのロゴを学生たちが、心理的な面で、犯人が見たらウツとなるような色合いや形をしっかりと考えて、作成した。まだ発表とはなっていないが、1月頃にサンプルを見さ

せていただいて、こちらの絵にあるように、ジョギングでも、犬の散歩でも、年齢関係なく着られるような、また防犯活動してるよというのわかるようなものが出来上がっているのです、ぜひ楽しみしていただければと思う。

会 長：ながら防犯活動は、とても大事なことだと思うが、ちょっと着るのに勇気がいる。

委 員：防犯灯の話があったが、電柱に付いているのは自治会が設置し、交差点などの支柱に付いているものが市が付けているもの。また少し暗いところとかがあれば、自治会のほうに相談してもらえれば、予算があれば対応してくれることもある。

委 員：私の住んでいる地域は、本当に農村地で、広いがあまりよそ者の入る余地がないというか、道路が非常に狭隘になっている。また、農家が多いが、やはり軽トラなど鍵をかけていないことが多い。しかも、鍵をつけっぱなしにしていることもある。結局は、自己責任だとは思いますが、見慣れない人が物色するように歩いていても、地元の人をよく見ているので、入りづらい雰囲気はある。他の地域のように、大型店舗などが入って活性化するのもよいが、反面、犯罪は増える。長年自治会長をやっており、地域の防犯活動もやっているが、子どもたちも顔を覚えてくれて声をかけてくれたりしてくれる。

会 長：なかなか親子三代で暮らすというところは少なくなった。それによる弊害もあるかもしれないが、子どもたちにとってはとても心豊かに暮らせると思う。

委 員：警察の立場としては、治安維持の最高責任者であるので、これからもしっかりと豊橋の安全安心のためやっていくのはもちろんだが、これまでもそうであるようにこれからも、みなさんと一緒になってやっていきたい。それぞれの立場で、やはりやることは違うので、その範囲のなかでやれることをやっていければなど。ぜひ、知り得たことを持ち帰って、他の方に広げてもらえればよいかなと。引き続き、よろしく願いしたい。

会 長：警察でも防犯教室などを開催しているので、ぜひ一度相談してみしてほしい。他に特になければ、以上を持ちまして、予定した案件は全て終了とさせていただきます。長時間にわたり、貴重なご意見をありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

事務局：会長ありがとうございました。

以上を持ちまして、豊橋市安全で安心なまちづくり審議会を閉会とさせていただきます。